



復興庁

Reconstruction Agency

復興・創生 その先へ

宮城県の復興の現状

ー東日本大震災から12年ー

令和5年3月
宮城復興局

目次

第1部 宮城における震災の概要

第2部 宮城における復興の現状

第3部 宮城における分野別の復興の取組

1. 心のケア等被災者支援
2. 住宅再建・復興まちづくり
3. 産業・生業の再生
4. 原子力災害からの復興・再生
5. 地方創生との連携強化

第4部 震災の記憶と教訓の伝承 復興の教訓・ノウハウの継承

(参考) 基盤となるインフラの復旧状況

第1部 宮城における震災の概要

【県内の津波浸水区域】

浸水箇所



地震の概況

- 地震名 東北地方太平洋沖地震
- 発生日時 平成23年3月11日(金)14時46分
- 発生場所 三陸沖(北緯38.1度, 東経142.5度)
- 規模 マグニチュード9.0
- 最大震度 震度7(栗原市)

※石巻市6強、女川町6弱、東松島市6強

- 津波の高さ 7.2m(仙台港)、8.6m以上(石巻市鮎川)

【参考:津波最大遡上高】

女川町 34.7m、石巻市(中心部) 12.0m、東松島市 10.1m

県内地域毎の被害概要

- 沿岸北部
湾奥部など20m超の津波により水産業を中心に壊滅的な被害
- 沿岸南部
津波浸水が仙台平野奥まで至り、農地が広域に冠水

宮城県における主な被害

【死者数・行方不明者数等】

死者 10,569人 (震災全体 19,759人)
 行方不明者 1,215人 (震災全体 2,553人)
 重傷 502人
 軽傷 3,615人 [令和4年9月末現在]

※死者は関連死を含む

【応急仮設住宅入居者数】

12.7万人 (最大時:平成24年3月)

※当時の宮城県人口 232万人

【住家・非住家被害】

全壊 83,005棟 (震災全体 122,006棟)
 半壊 155,130棟
 一部損壊 224,202棟
 床下浸水 7,796棟
 非住家被害 26,796棟

【被害額】 9.1兆円 (震災全体 16.9兆円)

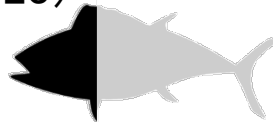
[令和3年9月末(確定値)]

【産業・生業】

➤ 漁業(主要4漁港)

水揚量 : 31.3万t ⇒ 9.7万t

水揚金額: 587億円 ⇒ 246億円
 (H22) (H23)



➤ 水産加工業

製造品
 出荷額等 : 2,556億円 ⇒ 1,227億円
 (H22) (H23)



➤ 観光(平成23年)

外国人宿泊者数: 15.9万人 ⇒ 4.8万人
 ※従業員数10人以上の施設 (H22) (H23)



※数値に関して、震災全体の被害については内閣府、観光については観光庁、それ以外については宮城県の公表資料から引用